



2026年4月1日

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

東洋炭素株式会社

岐阜大学に「東洋炭素・カーボンリサイクルデザイン共同研究講座」を設置 ～CO₂を経ない炭素材料循環という新たなアプローチに基づく独自技術の実証に向け～

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学（所在地：岐阜市、学長：吉田 和弘、以下「岐阜大学」）と東洋炭素株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役会長兼社長兼 CEO：近藤 尚孝、以下「東洋炭素」）は、2026年4月1日付で「東洋炭素・カーボンリサイクルデザイン共同研究講座」を開講しました。

岐阜大学と東洋炭素は、2023年1月より国立大学法人九州大学、国立大学法人京都工芸繊維大学とともに、炭素繊維をはじめとしたカーボン材料の再資源化等、カーボン材料のサーキュラーマテリアルの実現を目的とした共同研究を実施してまいりました。この共同研究では、化学分解プロセスを利用した資源循環モデルの構築および分解メカニズムの解明を研究の主題とし、分解後に得られる物質について、分子特性評価のほか、用途展開やカーボン原料のマルチソース化に向けた利用可能性についても検討を行いました。

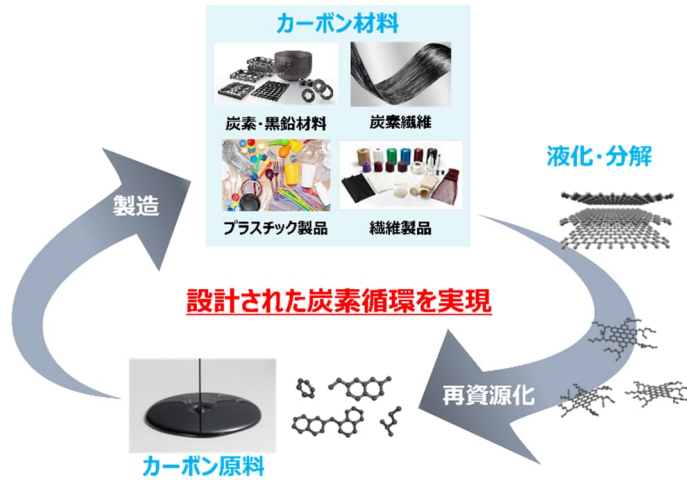
上記の共同研究を通じて研究成果の蓄積が進む中、これらの成果を継続的かつ体系的に推進する枠組みとして、この度岐阜大学と東洋炭素の共同研究講座を開設する運びとなりました。本共同研究講座では、これまでの研究を発展させ、カーボン材料における循環技術の実用化を中長期的に推進するべく、炭素材料の分解プロセスおよび循環利用に関する基礎研究およびプロセス研究を行います。

岐阜大学の入澤研究室では、炭素材料の中でも特に低コスト炭素繊維開発やリサイクル炭素繊維の活用技術開発で国内を牽引してきました。本講座においては、新しい炭素材料の分解技術の一翼を担い、炭素繊維をはじめとする高付加価値な炭素材料への転換技術の開発を目指します。

東洋炭素は、本共同研究講座の設置を通じて、大学との連携を一層深化させるとともに、炭素材料分野における研究基盤の強化を図り、環境対応技術ならびにカーボン原料の資源循環に関する技術の創出に取り組んでまいります。



■ 研究の狙い



■ 共同研究講座の概要

講座名称	東洋炭素・カーボンリサイクルデザイン共同研究講座
設置場所	岐阜大学高等研究院 GU コンポジット研究センター
設置期間	2026年4月1日～2028年3月31日
研究代表者	岐阜大学准教授 入澤寿平
特任教授	森下隆広（東洋炭素株式会社エグゼクティブ・フェロー）

【本件に関するお問合せ先】

岐阜大学 高等研究院 Gu コンポジットセンター
副センター長・産学連携教授 入澤 寿平
メール：irisawa.toshihira.g3@f.gifu-u.ac.jp

東洋炭素株式会社 経営企画本部企画部 IR 広報グループ
お問い合わせフォーム：<https://www.toyotanso.co.jp/Contact>